

AI（人工知能）による引用内容分析サービス

scite_

scite は次世代型の引用内容分析ツールです。利用者は、AI（人工知能）を活用した scite 独自の引用文献情報「スマートサイテーション」を通じ、文献の被引用数だけでなく、その文献が肯定的に評価されているのか、あるいは否定的に言及されているのかといった「評価の文脈」まで簡単に把握することができます。また、scite 内のスマートサイテーションの評価スコアを研究者や研究機関ごとに確認することができるため、研究支援ご担当者様のリサーチ等にもお役に立ていただけます。



引用文献の 評価チェック

スマートサイテーションを使って、引用する文献の信頼性や妥当性を手早く簡単にチェックすることができます。



ジャーナルの リサーチ

評価スコアや scite 独自のインデックスを使い、評価の高いジャーナルを調べることができます。論文の投稿先の選定等にお役に立ていただけます。



研究テーマの リサーチ

特定の研究テーマに関する重要な先行研究や最新の動向、主要な研究者などを簡単に調べることができます。



研究機関の リサーチ

機関単位での評価をチェックすることができるため、自機関を含めた研究機関の業績評価を簡単に確認できます。



研究助成機関の リサーチ

助成を受けた研究内容の評価を助成機関ごとにソートすることができます。



研究者のリサーチ

研究者の評価スコアを確認できます。共同研究者のリサーチを行うことができます。



ChatGPT for Science

ChatGPT をカスタマイズした機能を通じて、「回答の根拠となる学術情報を明示する ChatGPT」を使うことができます。

スマートサイテーションとは

「スマートサイテーション」は、AI（人工知能）を活用した scite 独自の引用文献情報です。文献の引用評価を Supporting, Mentioning, Contrasting という三つのカテゴリに分類してスコアを表示しています。分類は、ディープラーニングを使用して大量の文献を学習した AI により行われています。また、文献の引用箇所前後の文章を自動的に抽出するため、利用者自身が文献がどのように評価されているのかを、論文全体に目を通すことなく簡単にチェックすることができます。

AI による文脈を踏まえた
文献の評価スコア



文献の引用箇所の
前後の文章を表示



効率的で正確な文献評価！

“...Therefore the **artificial grammar learning** (AGL) paradigm has been used to create a relatively uncontaminated window onto the **neurobiology of syntax** (Gómez & Gerken, 2000; Petersson, Forkstam, & Ingvar, 2004; Reber, 1967) . In addition, AGL has been used in cross-species comparisons in an attempt to establish the uniquely human component of language (Fitch & Hauser, 2004; Gentner, Fenn, Margoliash, & Nusbaum, 2006; Hauser, Chomsky, & Fitch, 2002; O'Donnell, Hauser, & Fitch, 2005; Saffran et al., 2008).”

Section: Introduction 🕒 mentioning confidence: 99%

See 1 more Smart Citation **被引用論文における文中引用箇所およびその前後の文章を表示**

What artificial grammar learning reveals about the neurobiology of syntax
Karl Magnus Petersson¹, Vasiliki Folia², Peter Hagoort³ 2012 *Brain and Language*

📄 159 🕒 19 📄 206 🕒 2 **AI が被引用文献を読み込み、評価内容を分類・スコア化**

View full text Add to dashboard 66 Cite

AI によるスコア分類の技術的な詳細は、scite CEO の Josh M. Nicholson の論文（オープンアクセス）で詳しく説明されています。

参照)

Josh M. Nicholson, Milo Mordaunt, Patrice Lopez, Ashish Uppala, Domenic Rosati, Neves P. Rodrigues, Peter Grabitz, Sean C. Rife; "scite: A smart citation index that displays the context of citations and classifies their intent using deep learning". Quantitative Science Studies MIT Press, 2021; 2 (3): 882-898. doi:https://doi.org/10.1162/qss_a_00146



評価スコアの種類



Supporting

引用された研究の裏付けとなる証拠を提供する引用



Contrasting

引用された研究の対照的な証拠を提供する引用



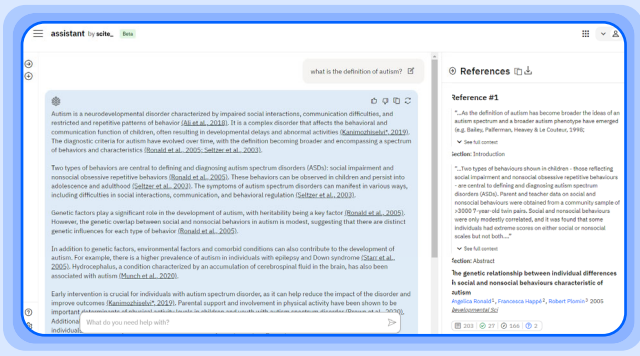
Mentioning

有効性の証拠を提供せずに言及された引用

scite の便利な機能 ▶ scite + ChatGPT, scite + PubMed, Google Scholar, arXiv, etc.

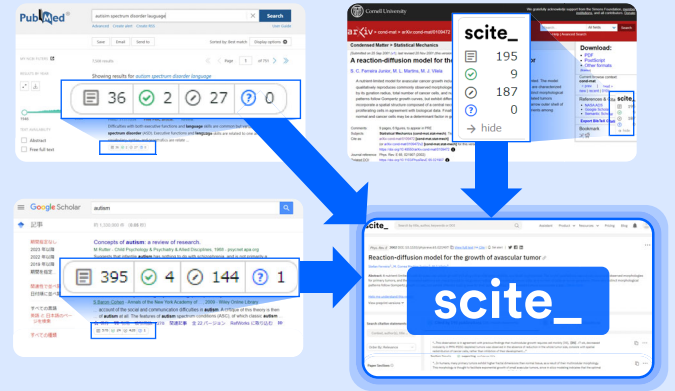
ChatGPT for Science – Assistant 機能

scite 内のデータをソースとした ChatGPT です。AI が、scite のカバーする文献情報に依拠した回答を返します。回答には参照した文献情報も示されるため、通常の ChatGPT に比べて、信頼性の高い回答を得ることができます。「自然言語による文献検索ツール」としてもお使いいただけます。



scite Browser extension

ブラウザの拡張機能です。PubMed や Google Scholar, arXiv などの検索結果に scite のスコアおよび該当の論文のスマートサイテーションへのリンクを表示させることができます。



その他の機能

Dashboard

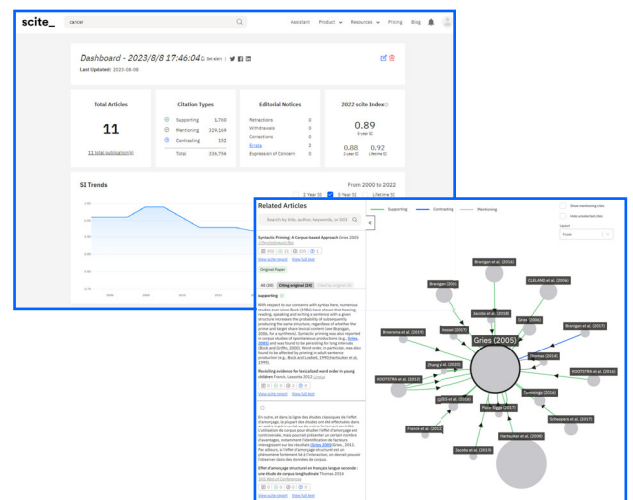
Dashboard に文献情報を保存できます。保存した文献のスコアの合計値を出したり、文献一覧をスコア順にソートすることなども可能です。Dashboard は複数設定できるため、研究テーマや研究者ごとに文献を保存することもできます。

scite Visualization

文献の引用/被引用関係を Supporting, Contrasting, Mentioning の評価カテゴリごとに分けて視覚的に表示することが可能です。

Reference Check

研究者が作成した論文の PDF を scite 上にドラッグすると、scite が該当の論文の参考文献の一覧を読み取り、各参考文献の scite 上での評価を一覧で表示します。

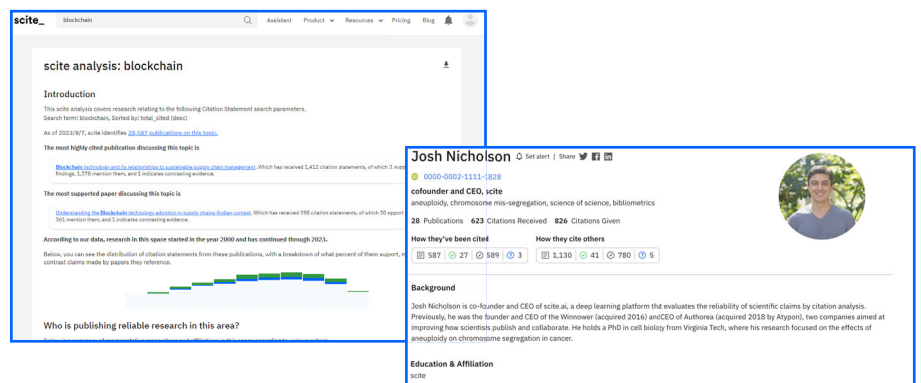


scite の活用法 ▶ 先行研究や投稿先のジャーナル、研究者などのリサーチ

scite はもちろん引用文献の評価のためだけに使うサービスではありません。

スマートサイテーションのデータベースを活用して、特定の研究テーマに関する先行研究調査やそのトピックに関して最もスコアの高い研究論文、最新の動向、また代表的な研究者や研究機関なども調べることができます。

そのため、研究者だけでなく、研究支援のご担当者様にもお役に立てるサービスです。



scite のオンラインデモンストレーションやトライアル、お見積りのご依頼を随時承っております。

